

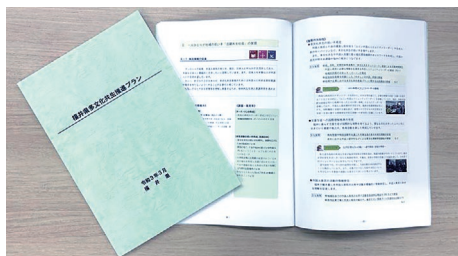


福井県の国際化に向けた地域づくり

福井県産業労働部国際経済課 主事 坪田 瑛美香

福井県の現状

福井県では、年々人口減少が進む中で外国人住民数は増加傾向にあり、2023年12月末時点で1万6,756人と過去最高人数を記録しました。世界87カ国・地域からの人々が在留し、国籍・地域別では、ベトナム出身者が最も多く、次いでブラジル、フィリピン、中国、韓国・朝鮮の順です。在留資格別では、「技能実習」が最も多く、次いで「永住者」「定住者」「特別永住者」となります。



福井県多文化共生推進プラン

さて、このような中、本県は「多文化共生先進地ふくい」を目指し、2021年に「福井県多文化共生推進プラン」を策定しました。その上で、多文化共生に取り組む県・市町および各種関係機関・団体が横断的に情報などを共有するために、「ふくい多文化共生推進ネットワーク」を設置し、運営しております。加えて、同プランの実行にあたって新たな活動を実施する団体などには「ふくい多文化共生推進応援金」事業で支援を行っております。

また、外国人住民の一元的窓口としては、県内2か所に「ふくい外国人相談センター」を設置し、各種相談を受け付けているほか、外国人住民への円滑な情報伝達やニーズ把握ができるよう「ふくい外国人コミュニティリーダー（以下、リーダーという）」事業を通じて、外国人住民とのネットワークを構築しています。2023年度からは、外国人の観点から多文化共生を推進し、キーパーソンをつなぐ役割を担う「外国人地域おこし協力隊（ふくい多文化共生プロモーター）」を採用しました。本稿では、これら二つの事業について紹介いたします。



2023年度 リーダー専門研修（後期）の様子

「ふくい外国人コミュニティリーダー」

福井県では、2020年から外国人コミュニティと行政や地域とをつなぐ懸け橋としてリーダーを認定・養成しています。リーダーは、年に2回募集し、基礎・専門研修を受講した方を認定しています。現在、15カ国・地域68人のリーダーが、日頃からSNSなどで生活・災害情報を発信するほか、外国人住民からの相談事にも対応しています。また、災害時には「地域の担い手」として、地域に暮らす外国人も日本人も支えられるよう、平時から防災訓練など災害に関する研修会にも参加しています。

県や県国際交流協会の担当者とリーダーは、日頃から気軽に双方向にコミュニケーションが取れるようSNSなどでグループを作り連絡しています。ポストコロナの今、対面でのミーティング回数を増やし、ネットワークをさらに広げながら信頼関係を構築していきたいと考えています。

リーダー制度の今後について

2024年の元日に発生した「令和6年能登半島地震」の際には、県や県国際交流協会から発信する情報の拡散に加え、リーダー自らが情報収集と母国語による情報発信に奔走しました。最近では、地域の公民館まつりへの参加や草刈りなどの奉仕作業にも積極的に参加しているほ

か、冬には雪かきボランティアにも参加しています。

リーダー制度設置から5年目になる2024年度は、リーダーの主体的な活動を支援しながら、各コミュニティの組織化とリーダー制度の自走を行っていくことを目標としています。

従来は、お知らせや情報の周知を行う際や文化紹介の講師などを依頼する際には、特定の人に依頼が集中することが多く、活動を負担に感じるケースが見られました。今後は、イベント参加や情報発信を各コミュニティが組織的に行いながら、転入してきた同国出身者の受け皿となり、地域で孤立しないような支援の仕組みをリーダーの皆さんと作っていきたくと考えています。すでに数カ国のグループから団体の設立について相談を受けており、今後は「ふくい多文化共生推進ネットワーク」などに各コミュニティが参加しながら、活動の幅を広げていくことを期待しています。



外国人地域おこし協力隊のInstagramページ

外国人地域おこし協力隊の役割

本県では、2023年度にアメリカ人の「外国人地域おこし協力隊（隊員）」を委嘱しました。

本隊員もリーダーの一員であり、各リーダーの出身、所属コミュニティ、活動分野などを把握していることから、リーダー個々に焦点を当てて、各々の思いや活動について県内外に情報発信を行っています。外国人が「地域の担い手」として活躍していることはまだ十分に知られていない状況でもあることから、このような発

信で多文化共生社会への一歩につながることを期待しています。

リーダーを中心に外国人住民にスポットが当たることで、県民に外国人住民の存在を知ってもらうことにつながります。また、外国人住民自身にとっても、「主役」としての福井県での暮らしがより豊かになると期待されています。隊員には、そのロールモデルとして、外国人の視点から福井県の良さをPRしながら、外国人にとっても暮らしやすい、「選ばれる福井」を目指す一翼を担っていただこうと考えています。

外国人地域おこし協力隊の活動

隊員は、国際交流や多文化共生に関する研修やイベントへの参加に加え、行政や民間団体が行う研修やイベントの企画や運営をサポートしています。また、SNSを使って活動のレポートや外国人住民の紹介などもしています。

任期終了後を見据えて、現在隊員が最も力を入れて取り組んでいる活動は、「英語カフェ」というイベントです。将来、国籍や文化の違いに関わらず、色々な人が集えるコミュニティカフェの経営を目指している隊員のキャリア形成を、県と県国際交流協会がサポートしています。



英語カフェでの様子

今後の展望

福井県では、日本人住民も外国人住民も暮らしやすい社会の実現に向けたさまざまな取り組みを行っています。その中で、母国を離れ言葉や文化の違うところでの暮らしに不安を抱える方、ルーツやアイデンティティの違いによる葛藤を抱える方など多様な背景を持つ方々と出会いました。彼ら彼女らも安心・安全に暮らせる地域の実現に向けて、これからもリーダーや隊員と一緒に多文化共生社会の実現に努めていきます。